

## 第4章 協働プロジェクト

環境問題に取り組むためには、環境保全活動への関心や参加意欲の向上、環境保全活動を担う人材や組織の発掘・育成などが求められます。こうしたことから、第2次環境基本計画の中で市民・事業者と市が協働して取り組む「協働プロジェクト」を位置づけています。

「望ましい環境像」実現に向けて協働プロジェクトを推進することにより、環境問題への関心の拡大、環境活動への参加拡大、地域コミュニティの活性化、町会・自治会と環境保全活動団体の連携拡大を図ります。

協働プロジェクトの評価は、市で把握できる市民・事業者との協働による活動実績（評価指標として参加者数、活動箇所数や参加世帯数など）及び活動状況などについて把握し、5つのプロジェクトごとに結果をとりまとめ評価します。

### 第1節 里山復活プロジェクト

私たちの生活の源である里山・谷戸や身近な斜面緑地など、貴重なみどりの機能を回復することが重要です。地下水かん養や生物多様性の保全など、みどりや水辺の持つ多面的機能の回復をめざします。

|      | 27年度実績   |
|------|--|
| 評価指標 | 戸吹環境教育・学習拠点整備事業（活動箇所1、受講者20人）<br>「上川の里」特別緑地保全地区整備（活動箇所1、参加者延べ500人）<br>川口川上流域谷戸と水路の生きものプロジェクト（参加者33人）<br>公園アドプト制度（活動箇所19、登録者1,358人） |

基本施策の評価： ほぼ目標を達成した

#### <市内部での総括評価>

里山復活プロジェクトに該当すると考えられる事業が環境政策課、環境保全課、水環境整備課、公園課の4所管において行われている。活動主体は、町会・自治会や環境保全活動団体である。里山の保全活動だけでなく、「上川の里」特別緑地保全地区整備と川口川上流域谷戸と水路の生きものプロジェクトでは環境教育・環境学習の場として活用している。戸吹環境教育・学習拠点整備事業として最終処分場用地を活用した人材育成研修を新しく始めた。

#### <今後の展開>

戸吹環境教育・学習拠点整備事業では、育成した人材を他の里山や斜面緑地にサポーターとして派遣する事業などを展開していく。

#### <環境推進会議での相互評価>

多くの里山で活動をされており、保全が行われていることは評価できる。今後も市内の活動団体と連携し里山の保全を進めるとともに、活動状況を市でもPRし意識啓発を行っていただきたい。

## 第2節 生ごみ資源化促進プロジェクト

「循環型都市八王子」の実現には、一層のごみの減量・資源化が重要です。生ごみの減量・資源化のため、地域の特性に応じた生ごみの地域循環を促進します。

| 27年度実績 |                         |
|--------|-------------------------|
| 評価指標   | ダンボールコンポスト講習会（受講者 481人） |

基本施策の評価： ほぼ目標を達成した

### <市内部での総括評価>

家庭へダンボールコンポストを普及するため、八王子市生ごみリサイクルリーダーによる講習会を実施しており、生ごみリサイクルリーダーの活用場ともなっている。講習会の一部は公益財団法人の共催でNPO法人の講師を招き開催した。ダンボールコンポスト購入に対して補助を行っている。27年度からダンボールコンポストで作ったたい肥と基材の無料交換を始めた。

### <今後の展開>

ダンボールコンポストで作ったたい肥を全国都市緑化はちおうじフェアで活用するため、講習会の回数、参加世帯数を増加させる。

### <環境推進会議での相互評価>

「全国都市緑化はちおうじフェア」と連携して実施する事業は、ダンボールコンポストの活用とともに、生ごみを資源化するという意識啓発に効果的だと考える。また、講座の受講者が、継続して生ごみの資源化に取り組めるよう、フォローにも努めていただきたい。

## 第3節 省エネ応援プロジェクト

地球温暖化を防止するためには、一人ひとりがCO<sub>2</sub>排出量の削減に取り組んでいくことが重要です。家庭や職場、地域などで省エネ知識を高め、簡単に継続的に取り組める省エネ行動を応援します。

| 27年度実績 |                                    |
|--------|------------------------------------|
| 評価指標   | 家庭における省エネの推進（はちおうじ省エネ国の会員 3,328世帯） |

基本施策の評価： ほぼ目標を達成した

### <市内部での総括評価>

勉強会を実施するなど、家庭の省エネアドバイザーの育成、支援に取り組むとともに、家庭の省エネアドバイザーを通じて、省エネに関する知識の普及啓発を図った。環境フェスティバルや地球温暖化防止普及啓発イベントなどで、はちおうじ省エネ国の参加登録を募り、前年比9%増となった。

### <今後の展開>

市全域でのCO<sub>2</sub>排出量の削減を推進するため地球温暖化防止活動推進員（家庭の省エネアドバイザーは27年度で廃止）の派遣を進める。はちおうじ省エネ国の参加を募ることにより継続的に省エネ活動を実施する世帯を増やす。

### <環境推進会議での相互評価>

はちおうじ省エネ国への参加者や、省エネチャレンジ参加世帯が増えていることは、省エネ活動の普及啓発ができていると評価できる。今後も継続的に省エネ活動を実施する世帯が増え、CO<sub>2</sub>排出量の削減につながるよう活動の展開をしっかりとっていただきたい。

#### 第4節 環境教育サポートプロジェクト

環境問題を解決していくためには、一人ひとりが問題を認識・理解し、行動することが重要です。小・中学校における総合的な学習の時間などを活用し、学校での環境教育を支援します。

| 27年度実績 |                                     |
|--------|-------------------------------------|
| 評価指標   | 環境教育支援事業（実施19校、授業を受けた児童・生徒延べ4,194人） |
|        | 八王子浅川水辺の楽校（授業を受けた児童・生徒延べ400人）       |
|        | 八王子市小学校科学教育センター事業（センター生に登録した児童111人） |
|        | 自然観察会（授業を受けた児童・生徒延べ76人）             |

基本施策の評価： ほぼ目標を達成した

##### <市内部での総括評価>

児童・生徒を対象とした環境学習を地域の人材を活用して実施している。里山や河川などでの体験学習のため天候などにより参加人数は増減するが、計画に沿った事業を実施した。

##### <今後の展開>

小・中学生に環境学習を行うことで環境意識の向上を図るとともに、自然を大切にする人の増加を目指す。

##### <環境推進会議での相互評価>

小学生・中学生への環境教育は非常に重要な取組である。教育委員会とも連携を取り、引き続き環境教育を推進していただきたい。

#### 第5節 地域の環境美化プロジェクト

まちの美化を進めるためには、モラルやマナーを守り、都市の美観を保持することが重要です。市民・事業者が、清潔で美しい地域の環境づくりに取り組めるよう支援します。

| 27年度実績 |   |
|--------|---|
| 評価指標   | 道路アドプト制度（登録者4,056人） 公園アドプト制度（登録者18,436人）  |
|        | 水辺の水護り制度（登録者20団体375人） 落書き消去活動（参加者延べ約122人） |
|        | 生活安全パトロール（参加者延べ約500人） 市民緑化支援事業（登録団体15団体）  |
|        | 違反屋外広告物除去活動（延べ参加者143人） 花づくり事業（登録者56人）     |
|        | 八王子中町・花街の街並みの維持活動（参加者6人）                  |
|        | 旧老人ホーム跡地美化（参加者延べ2,400人） 慰霊塔清掃（登録者149人）    |

基本施策の評価： ほぼ目標を達成した

##### <市内部での総括評価>

まちの美化をすすめるために11事業行っている。おおむね参加者は増加している。特に違反屋外広告物除去活動では、中核市移行に関連し説明会等を行ったことにより市民ボランティアが延べ44人増加した。また公園アドプト制度では、新規登録の促進を有志・個人に行うことで積極的に行っている。

##### <今後の展開>

引き続き地域の環境美化に努める。

##### <環境推進会議での相互評価>

多くの市民ボランティアが継続して美化活動に努めていることがわかる。美化活動が全市域へ広がり、さらに多くの市民が参加できるように支援をしていただきたい。